

情報オリンピック「レギオ」講習会

高校生による情報科学自由研究「情報オリンピック問題に挑戦しよう！」



1989年、世界中の中等教育課程の生徒（日本では、中高生・高専生）を対象とした第1回国際情報オリンピックが

ブルガリアで開催されました。

日本情報オリンピック委員会では、国際情報オリンピックに日本国内の中高生を代表選手として派遣するための事業を行っています。

同委員会では、情報オリンピック国際大会を目指す中高生の育成のため、本学を含む全国の大学で地域密着型の学習支援講習会「レギオ」を開催しています。今年は本学の「高校生による情報科学自由研究」の一テーマ「情報オリンピック問題に挑戦しよう！」として、広島県、広島市近隣の高校生を対象に開催しました。

開催日：2022年7月26日、8月2日、8月8日、8月10日

会場：本学情報処理センター、情報工学実験室

講師：舟阪 淳一、窪田昌史
(情報科学研究科)

本件の連絡先：窪田 昌史
kubota@hiroshima-cu.ac.jp

今年は広島市内の高校生8人が入門・初級コース、3人が中級コースに参加しました。



<今年度プログラム>

入門・初級コース(主にC言語)

7/26(火)

環境に慣れよう

8/2(火)

情報オリンピック予選問題に挑戦

中級コース(主にC++言語)

8/8(月)

配列に慣れよう

8/10(水)

複雑なデータ構造を扱ってみよう

<参加者の声>

四則演算を使えるようになった。/条件分岐は難しかったが面白かった。/プログラミングは数学と似ているところがある。/自分が使っていないコードの書き方が多く、学ぶことばかりで難しかった。/情報オリンピックの予選に参加してみたい。/将来高齢者や障害者などを助けるプログラムを作りたい。